



バージョン 15

# デプロイメントガイド

年間ライセンス版：macOS

「真の発見の旅とは、新しい風景を探すことではなく、新たな視点を持つことである。」

Marcel Proust

JMP, A Business Unit of SAS  
SAS Campus Drive  
Cary, NC 27513

9/26/19

The correct bibliographic citation for this manual is as follows: SAS Institute Inc. 2019. JMP® 15 デプロイメントガイド (年間ライセンス版 : macOS) . Cary, NC: SAS Institute Inc.

**JMP® 15 デプロイメントガイド (年間ライセンス版 : macOS)**

Copyright © 2019, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA

All rights reserved. Produced in the United States of America.

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513-2414.

# 目次

## デプロイメントガイド（年間ライセンス版：macOS）

---

<b>1 インストール</b>	4
インストール用ファイルの提供	4
ライセンス情報	5
JMPのインストール準備	5
ライセンス管理	6
JMPのインストール	7
JMP初回起動時の操作	7
<b>2 更新とアップグレード</b>	9
JMPのライセンスの更新	9
<b>3 FAQ</b>	11

# 第1章

## インストール 年間ライセンス版macOSバージョン

本ガイドは、JMPおよびJMP Proのバージョン15用です。本ガイドではJMPとJMP Proの両方に対して「JMP」という名称を用いています。古いバージョンを使用している方は、該当するバージョンのデプロイメントガイドを参照してください。

このガイドでは、macOS用の年間ライセンス版JMPのインストール、デプロイメント、ライセンス情報の更新について解説しています。年間ライセンス版のJMPは、契約期間終了時に使用期限が切れるライセンス情報によって保護されているバージョンです。このバージョンは、適切かつ有効なライセンスファイルがなければ動作しません。このファイルにより、ライセンス期限日に契約更新の猶予期間を加えた期限までJMPが動作可能となります。

JMPの新規契約時に必要な作業の流れは、以下のとおりです。

1. JMPインストールファイルの入手。詳細については、「[インストール用ファイルの提供](#)」(4ページ)を参照してください。
2. ライセンスファイルの確認(オプション)。詳細については、「[ライセンス情報](#)」(5ページ)を参照してください。
3. インストールファイルの準備。詳細については、「[JMPのインストール準備](#)」(5ページ)を参照してください。
4. 必要に応じてライセンスファイルの場所をユーザに通知。詳細については、「[ライセンス管理](#)」(6ページ)を参照してください。
5. インストールファイルの場所をユーザに通知。詳細については、「[JMPのインストール](#)」(7ページ)を参照してください。
6. 各ユーザによる、JMPのインストールと起動。詳細については、「[JMP初回起動時の操作](#)」(7ページ)を参照してください。

管理者がどのようにライセンスを準備したかにより、ユーザが、JMPの初回実行時にSASインストールデータ(SID)ファイルまたはJMP.PERファイルの場所を指定しなければならない場合があります。

JMPを配布する前に、<http://www.jmp.com/administrator/>にある追加情報もご確認ください。

---

### インストール用ファイルの提供

インストール用ファイルは、SASから次のいずれかの方法で提供されます。

- ESD (Electronic Software Delivery: ダウンロードによるソフトウェアの配布)
- DVDメディア

どちらがよいか、必要に応じて、JMPのアカウントマネージャにご相談ください。どちらの方法でファイルを受け取られても、構成は同じです。ファイルをダウンロードする場合の方法に関しては、SASから送られる Software Order Email（ダウンロードに必要な情報のメール）を参照してください。ESDのダウンロードは2回までしかできないようになっています。

## ライセンス情報

JMPを実行するには、有効なライセンスファイルが必要です。ライセンスファイルはJMPのインストール時に作成されるJMP.PERという名前のファイルです。JMP.PERファイルを作成するのに必要なデータは、SASインストールデータ（SID）ファイルとして参照されるテキストファイル内にあります。SIDファイルは、メディア（ESDまたはDVD）のsid\_filesフォルダにあります。

JMPでは、バージョンによってライセンスファイルの中身が異なるため、メジャーバージョン（バージョン番号「#.0」）ごとにライセンスファイルが必要です。ライセンスファイルは、メジャーバージョンが同じであれば、後に続くメンテナスリリース（バージョン番号「#.#」）のすべてに有効です。

JMP.PERは、JMPのインストール中またはライセンスの適用時に作成された場所に保管しておくことをお勧めします。ただしJMPでは、すべてのユーザがアクセスできる1つの場所にJMP.PERを保管することも可能です。詳細については、「[ライセンス管理](#)」（6ページ）を参照してください。

JMPは、起動のたびにJMP.PERを読み込み、JMP.PERのすべての行を確認します。また、オペレーティングシステムも確認します。Windows用のJMP.PERはmacOSで使用できず、macOS用のJMP.PERはWindowsで使用できないためです。

### ライセンス期限日付

新規ご契約の場合、媒体に含まれているライセンスは、約90日後に期限が切れる場合があります。その場合、後日新しいSIDファイルがSASから電子メールで送られます。SASから新しいライセンス（SIDファイル）を受け取ったら、元のインストール用ファイルの中にあるSIDファイルを、SASから受け取ったファイルに置き換えてください。その後のすべてのインストールで確実に新しいライセンスが使用されるようになります。すでにインストールされたJMPについてもライセンスを更新する必要があります。詳細については、「[JMPのライセンスの更新](#)」（9ページ）を参照してください。

ライセンスの猶予期間は、90日です。そのうち45日を過ぎると、JMPを起動するたびに、ライセンスの更新を促すメッセージが表示されるようになります。猶予期間が過ぎると、新しいライセンスを取得しない限りJMPは起動できません。

## JMPのインストール準備

JMPのインストール用ファイルを、次のいずれかの方法で準備します。

- ソフトウェアデポまたはオリジナルのDVDからすべてのファイルを共有ネットワーク領域にコピーする。すべてのユーザがその1つの場所からJMPをインストールできるようになります。

- ・ ソフトウェアデポまたはオリジナルのDVDからすべてのインストール用ファイルを DVDにコピーし、そのディスクを各ユーザに配布する。
- ・ オリジナルのDVDを各ユーザに順に廻す。

## ライセンス管理

JMPインストーラは、ライセンスファイルをユーザフォルダに置きます。インストール中にSIDファイルが見つかった場合、JMP.PERファイルは次のユーザフォルダに作成されます。

~/Library/Application Support/JMP/15

なお、1つのJMP.PERファイルを安全な共用の場所に置き、すべてのユーザがそのファイルを使うようにすることもできます。

JMPは、起動時にJMP.PERファイルを探します。ファイルが見つからない場合は、ユーザが場所を指定するよう促されます。

検索は、次のような順序で行われます。

1.root レベル (/Library/Application Support/JMP/) にある com.sasjmp.plist ファイルの Setinit\_15\_Path 変数に設定されている場所

2.user レベル (~/Library/Application Support/JMP/) にある com.sasjmp.plist ファイルの Setinit\_15\_Path 変数に設定されている場所

3. ~/Library/Application Support/JMP/15 フォルダ

デフォルトでは、JMP.PERファイルは3番の場所に作成されます。ライセンスファイルが作成されなかった場合、初回起動時にメッセージが表示され、ライセンスファイルが保存された場所が2番の変数に記録されます。

### 1つのライセンスファイルをすべてのユーザで共有できるようにJMPをインストールする方法

管理者は、インストール後にいくつかの手順を行うことで、共通の場所にライセンスファイルを保存し、すべてのユーザに共有させることができます。この手順は、スクリプトを使って、またはお使いのデプロイメントツールで実行できます。

#### 1. JMP 15をインストールします。

JMP 15は、管理者権限を使って各コンピュータにインストールする必要があります。インストール中、ソフトウェアデポの sid\_files フォルダにテキストファイルが見つかった場合は、その情報をもとにして JMP.PER ファイルが作成されます。このファイルは、~/Library/Application Support/JMP/15 フォルダの中に保存されます。

#### 2. JMP.PERファイルを、ユーザフォルダからシステムフォルダに移動させます。

すべてのユーザが JMP.PER ファイルにアクセスできるようにするために、ファイルをユーザフォルダからシステムフォルダに移動させます。

```
sudo mv ~/Library/Application Support/JMP/15/JMP.per
```

/Library/Application\ Support/JMP/15

3. システムフォルダに、Setinit\_15\_Pathのエントリを作成します。

JMPにJMP.PERファイルの場所を知らせるため、/Library/Preferences/com.sas.jmp.plistファイル内にエントリを作成する必要があります。JMP.PERファイルの場所を含むSetinit\_15\_Path変数を作成します。

```
sudo defaults write /Library/Preferences/com.sas.jmp.plist Setinit_15_Path /Library/Application\ Support/JMP/15/JMP.per
```

4. ユーザフォルダにあるSetinit\_15\_Pathのエントリを削除します。

これまでにも設定された可能性がある場所を消去するため、ユーザフォルダに存在するJMP.PERの場所への参照をすべて削除してください。

```
sudo defaults delete ~/Library/Preferences/com.sas.jmp.plist Setinit_15_Path
```

5. JMP.PERファイルのパーミッションの設定を変更し、すべてのユーザがアクセスできるようにします。

すべてのユーザが、移動させたJMP.PERファイルを読めるようにするため、読み/書きのパーミッションを更新します。

```
sudo chmod 644 /Library/Application\ Support/JMP/15/JMP.per
```

---

## JMPのインストール

**注:** JMPをインストールする各ユーザは、そのコンピュータ上で管理者権限を持っていなければなりません。

JMP管理者は、インストール用ファイルの場所をユーザに通知する必要があります。ライセンスの配置の方法により、必要な場合はライセンスファイルの場所も合わせてユーザに通知します。ソフトウェアデポには、JMPのインストールに必要なインストーラファイルが含まれています。JMPとJMP Proは、別々のソフトウェアデポに保管されます。ソフトウェアデポには、オペレーティングシステムとJMPのバージョンに基づいたインストーラ用のフォルダ構造があります。インストールを開始するために実行するファイルは以下のとおりです。

表1.1

JMP	<SAS Software Depot>/JMP/JMP/15_0/Macintosh/JMP-Install.dmg
JMP Pro	<SAS Software Depot>/JMP/JMP_Pro/15_0/Macintosh/JMP-Install.dmg

ライセンスファイルがインストール中に適用されなかった場合、ユーザはJMPの初回起動時にライセンスファイルを選択するよう促されます。

---

## JMP初回起動時の操作

ライセンスファイルがインストール中に適用された場合、その他に必要な処理はありません。

ライセンスファイルがインストール中に適用されなかった場合、ユーザはライセンスファイルを選択するよう促されます。

ユーザが JMP.PER ファイルの場所を指定すると、JMP.PER ファイルの場所が ~/Library/Preferences/com.sasjmp.plist にある Setinit\_15\_Path 変数に保存されます。そのため、もし後になって JMP.PER ファイルが移動または削除された場合、ユーザはライセンスファイルを選択するよう促されます。また、JMP.PER ファイルがネットワークドライブに保存されている場合は、そのドライブが利用可能な状態でないと JMP を実行することができません。

ユーザが SID ファイルを指定した場合、JMP はそのファイルを使って JMP.PER ファイルを作成し、~/Library/Application Support/JMP/15 に保存します。

# 第2章

## 更新とアップグレード JMPライセンス

この章では、JMPライセンスの更新とアップグレードの方法について説明します。ライセンスの更新が必要になると、SASから新しいライセンスデータをテキストファイルとして添付したメールが届きます。このテキストファイルを保存し、ライセンスの更新に使用します。

### JMPのライセンスの更新

ライセンスの有効期限が切れるときには、SASとのライセンス契約を更新する必要があります。JMP管理者にSASから新しいSIDファイルが送信されます。

SASから新しいライセンス（SIDファイル）を受け取ったら、元のインストール用ファイルの中にあるSIDファイルを、SASから受け取ったファイルに置き換えてください。その後のすべてのインストールで確実に新しいライセンスが使用されるようになります。

**注:** SIDファイルやJMP.PERファイルには、テキストエディタで編集できそうなテキストが含まれていますが、絶対に編集しないでください。SIDファイルを変更すると、どのような方法で変更したかにかかわらず、ファイルの整合性が損なわれます。いったん整合性が損なわれると、ライセンスファイルが作成されず、JMPを使用できなくなります。同様に、JMP.PERファイルを変更すると、ファイルが無効になり、元のSIDファイルを使用してJMP.PERファイルを作成し直さなければならなくなります。

また、インストールされているすべてのJMPでライセンスを更新する必要があります。次の3通りの方法があります。

- SIDファイルをすべてのユーザに配布する。
- 新しいSIDからJMP.PERファイルを作成し、それをすべてのユーザに配布する。
- 共有ネットワーク上にあるJMP.PERファイルのコピーを置換する。

#### JMPライセンスの更新

1. JMPを起動します。
2. ライセンスの更新を促すメッセージが表示されたら、【ライセンスを開く】をクリックしてください。

ライセンスの更新を促すメッセージが表示されない場合は、JMPのスクリプトウィンドウを開き、次のスクリプトを入力して実行します。

```
Renew License();
```

3. 下記の手順で、SIDファイルまたはJMP.PERファイルを使用して更新を行います。

SID ファイルを使用した JMP の更新

1. 表示されたウィンドウで、SASから電子メールで送られてきたSIDファイルの保存場所へ移動し、ファイルを選択します。
2. [開く] をクリックします。
3. (オプション) 管理者の名前と部門を入力します。
4. [OK] をクリックします。

JMP.PER ファイルを使用した JMP の更新

1. 表示されたウィンドウで、新しいJMP.PERファイルがある場所まで移動します。
2. [開く] をクリックします。

# 第3章

## FAQ

### JMPのインストール

---

この章では、JMPに関するFAQをご紹介します。

**JMP.PERファイルが保存されているネットワークの外でノートPCを使ってJMPを実行したい場合は、どうすればよいですか。**

全員が使えるように单一のJMP.PERファイルがネットワーク上のフォルダに保存されている場合に、ネットワークに接続していないノートPC上でJMPを実行したいときは、一時ライセンスを用いて一定の期間だけJMPを実行できます。ただしその前に、ネットワークに接続した状態でノートPCのJMPを実行して、そのJMPが有効なJMP.PERファイルを参照する必要があります。

1. ノートPCをネットワークに接続します。
2. JMPを起動し、ノートPCのJMPがネットワーク上の最新のライセンスファイルにアクセスしていることを確認します。
3. JMPを終了します。

その後、ネットワークに接続しないでJMPを起動すると、90日間有効な一時ライセンスを使ってJMPが実行されます。90日が経過したら、再びネットワークに接続する必要があります。

---

**注:** ネットワークから切断する前に、有効なライセンスファイルを使ってJMPを実行する必要があります。ネットワークに接続しない状態でJMPを使用することはできません。

---

**JMPソフトウェアのメンテナンスアップグレードはどこで入手できますか。**

メンテナンスアップグレードは、JMPのWebサイト (<http://wwwjmp.com/update>) で提供されています。

**コンピュータに異なるバージョンのJMPを2つインストールすることはできますか。**

できます。JMP 15は、以前のバージョンがインストールされているコンピュータにそのままインストールできます。JMP 15をインストールしても、以前のバージョンは削除されず、両方のバージョンが実行可能になります。

**JMPのライセンスの期限が切れた場合や、もうすぐ切れる場合、誰に連絡すればよいですか。**

社内のJMP管理者またはサポート担当者を通し、SAS社の営業担当まで新しいライセンスファイルの提供をご依頼ください。

#### JMPの品質に関するステートメントはどこで見ることができますか。

JMPでは、JMPによって生成される結果が正確で信頼性が高いということを可能な範囲で確認できるよう、さまざまな手段を用意しています。顧客による検証や稼動性能適格性確認（OQ）の作業を支援するため、JMPは、標準技術局のStatistical Reference Data (StRD)に基づいた一連のテストをダウンロードファイルとして提供しています。また、JMPが正しくインストールおよび維持されていることを検証するツールもあります。このツールは、インストールされたファイルすべての整合性を検証し、詳細な結果をレポートします。これらの情報は、JMPのWebサイト（<http://www.jmp.com/qualitystatement>）から入手できます。

#### JMPで問題が生じた場合、どのように報告すればよいですか。

問題が発生した場合は、<https://www.jmp.com/support> の情報をご確認の上、ご連絡ください。

テクニカルサポートに連絡する際は、次の情報をお手元にご用意ください。

- JMPのサイト番号
- 使用しているJMPのバージョン
- グラフィックに問題がある場合は、ビデオカードのメーカーと型番、ビデオドライバのバージョンが必要になります。

#### JMPのサイト番号はどこを見ればわかりますか。

サイト番号を確認するには、【JMP】>【JMPについて】を選択します。

#### JMPはどのようにPERファイルを見つけますか。

JMPの起動時、PERファイルの検索は、次のような順序で行われます。

- rootレベルにあるcom.sas.jmp.plistファイルのSetinit\_15\_Path変数に設定されている場所
- userレベルにあるcom.sas.jmp.plistファイルのSetinit\_15\_Path変数に設定されている場所
- ~/Library/Application Support/JMP/15 フォルダ

JMPが参照しているPERファイルの場所は、次の1行のスクリプトでログに出力することができます。

```
Show License Path();
```